



学校だより



青梅市立東小中学校
令和3年度 第6号
9月30日(木)

優勝 紅組 147点
白組 146点

心が震える 素晴らしい！ 大成功の体育会
たくさんの感動をありがとう！

校長 川窪 公夫

台風14号の予想外の動きで、23日に延期となった体育会でしたが、子ども達は入場行進から閉会式まで、全ての演目・競技において、全力を尽くしてくれ、感動がたくさん詰まった素晴らしい大成功の体育会となりました。

【選手宣誓】

我々、選手一同は、日頃の成果を発揮し運動が得意、不得意関係なく、正々堂々、勝つために、本気で頑張り、力の限りを尽くし、悔いのない運動会にすることを誓います。

令和3年9月23日

<小学校代表6年男子>

<中学校代表3年女子>



堂々とした入場行進から始まった体育会。開会式でも集中力に優れ、真剣な眼差し(=まなざし)で話を聞いていました。ラジオ体操では、事前練習での指導を忘れず、しっかりと取り組んでいました。最初の競技である100m走では、呼名(こめい=名前を呼ばれること)に大きな声で「ハイ！」と返事をした後、一人一人がひたむきな走りでゴールを駆け抜けました。小学生のソーラン節は、迫力ある曲でさっそうと入場、練習の成果を発揮し、漁師さんの心意気を伝えていました。続く、中学生男子の集団行動演技は、列の交差の難しい部分もありましたが、短い練習時間で立派に仕上げました。クロスカントリーは、感染症対策のため、男子は、3つのグループに分かれる初の分散スタートとなりました。完走を目指し、誰一人手を抜かず走り、男子も女子も見事、全員が完走することができました。集団演技の最後を飾(かざ)る中学生女子のダンスは、軽快なリズムに乗り、生き生きと笑顔輝く踊りは、見る人に元気を届けてくれました。最後の種目となった紅白対抗選抜リレーでは、バトンに託(たく)した気持ちが走りに現われていて感激しました。

閉会式では、疲れを感じさせない集中力と達成感のある一人一人の顔が見られて感動しました。

**逆風を乗り越えて、成功させた
子ども達の全力は凄(すごい)い！**

今年の体育会は、コロナ禍であり、取組の過程から、様々な感染症対策を行いました。子ども達は、我慢をしなければならないことが多く、大

<新記録 誕生>
小学生女子100m
17秒14



【開会の言葉】

私は、この運動会で開会の言葉を務めることになりました。私は前の学校では、運動会にあまり関心がなく、自分の仕事を他の人に任せる感じでした。だから、今度は、自分のやるべきことに責任を持って、最後までやり抜くと決めました。また、今日まで私は走ることを頑張ってきました。長距離が苦手ですが、自信はないですが、全力で頑張るので見てほしいです。全力で頑張れば達成感も得られるはず。だから、皆さんも悔いが残らないよう、全力を出し切って、笑顔で終われるような運動会にしましょう。

<中学校3年女子>



変でしたが、体育会を成功させるために、本当によく協力してくれました。延期となったこと・真夏日となったこと・そして、コロナ禍での取組、3つの逆風を見事に乗り越えて、記憶に残る素晴らしい体育会になったのは、子ども達の全力の賜物(たまもの=大きな価値)です。特に、クロスカントリーをはじめ、競技の多くに、色や学年を超えて、拍手や声援などを送り合えるところに、体育会を成功させようとの一体感を感じました。取組の初日から、閉会式が終わり、午後の片付けに至るまで、始めから終わりまで、素直な心で、全力を尽くし抜いた皆さんの姿が、感動を呼びました。特に、小学6年生と中学3年生は全校のお手本として、さすが！活躍してくれました。この体育会で、皆さん一人一人に一瞬が永遠になるような心温まる思い出が刻まれたと確信します。結びに、励まし、支え、最後まで応援して下さった学園の先生方をはじめ、お手伝いをしてくれた高等部の皆さん、関係の先生方に感謝申し上げます。

【閉会の言葉】

僕には、この運動会で自分に言い聞かせてきた目標がありました。それは、クロスカントリーで1位になることです。ずっと、前から口に出して自分にプレッシャーをかけてきました。それが苦しくなって逃げだしたくなる時もあったけど、寮でも走って頑張りました。走ってみて、1位にはなれず悔しかったです。その悔しさを忘れず、次は駅伝大会に向けて頑張りたいと思います。

リレーでは、立候補することができました。集団行動や行進では3年生として下級生の見本となる姿を見せることができました。僕はこの運動会を全力でやって良かったと思っています。そういう環境をつくって下さった寮や学校の先生方に感謝しています。皆さんも結果に満足できた人、悔しい思いをした人がありますが、これからの行事や生活でも、全力でやり切ったと思えることをたくさん作っていきましょう。

これもちまして、令和3年度第20回運動会を閉会します。 <中学校3年男子>



総合防災訓練が行われました

9月5日(日)学園の総合防災訓練が行われました。地震発生を想定した緊急放送が流された後、校庭に避難しました。不安定な天候であったため、予定していた炊き出し訓練などはできませんでしたが、管理課長先生から、初期消火や避難の心構え、消火器の使い方について、丁寧(ていねい)な説明をいただいた後、各寮の代表の子ども達が練習用の消火器を使い消火訓練を行いました。園長先生は、子ども達が一言もしゃべらずにきちんと話を聞ける姿勢について褒(ほめ)ていただいた後、自身の東日本大震災時の体験から、「防災訓練が必ず役に立つこと、逆に言えば、訓練したことしか身に付かない」という主旨(しゅし=話の中心)のお話をされました。最後に、栄養士の先生から、各寮でいただく、非常食についての説明がありました。災害時は塩分も不足することがあるので味付けが、やや濃くなっているとのことでした。子ども達は終始、整然と並び、真剣に話を聞き、災害に備える心を育んでいました。その後、寮に戻り、炊き出しの代わりに調理してもらった豚汁と非常食の牛丼、缶詰の五目豆をいただきました。私も校長室で食べさせていただきましたが、調理師さんに作っていただいた豚汁の美味しさと共に、非常食の牛丼の味の良さにも驚かされました。命を守る防災訓練の準備をはじめ、企画・運営にご尽力いただいた学園の先生方に心より感謝いたします。

本校もこれまで以上に命の尊さを学ぶ機会を大切に、避難訓練や安全教育にしっかりと取り組んでいこうと思います。

